

Foresight in sight

# 幸福度調査からみえてくる地方創生のヒント

---

## データから検討への手がかりを考える

日本ユニシス株式会社  
総合技術研究所 横田 賀恵

- 地方創生と女性の活躍
- 女性の労働力人口比率×合計特殊出生率
- データでみる鳥取県
- 都道府県幸福度ランキングとは
- 幸福度ランキング分析システム紹介（デモ）
- まとめ

## 日本の未来を変える地方創生と女性の活躍

### まち・ひと・しごと創生法 第一条（目的）

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

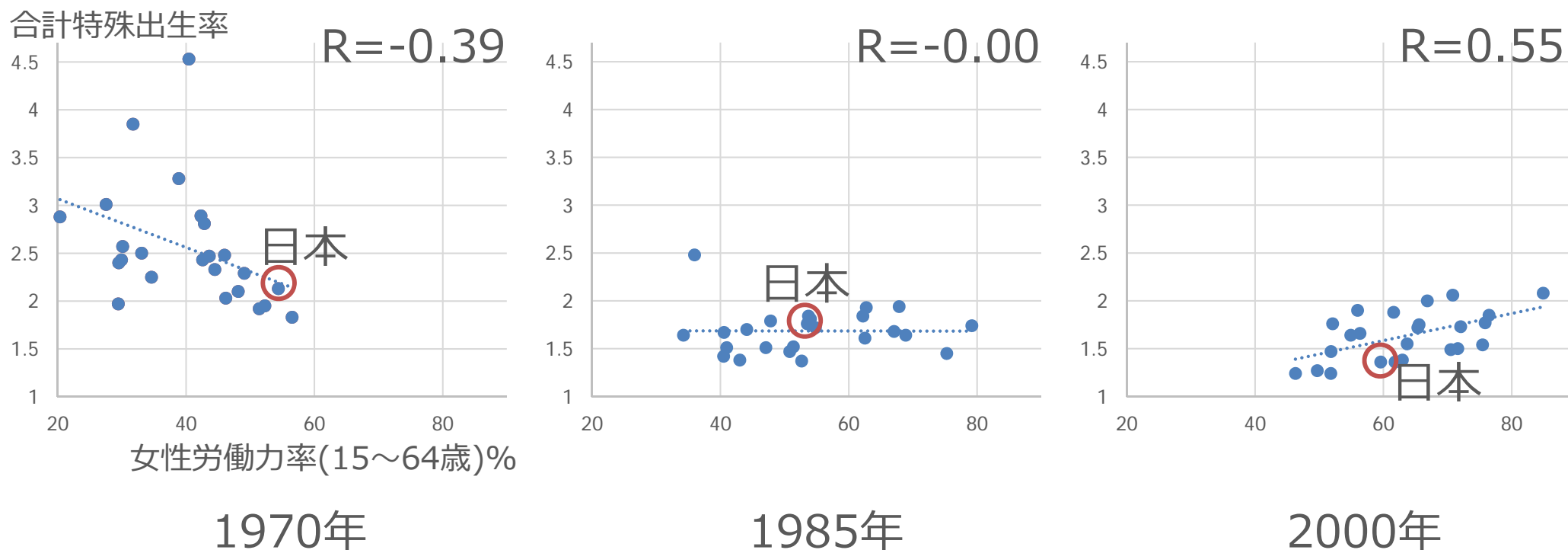
少子化・人口減少を克服するために

- 人口減少の主因と考えられる若い女性の流出を防ぐために雇用や生活環境を整える
- 若者や女性が地域で活躍できる社会づくり

# 女性の労働力人口比率と合計特殊出生率の関係 Foresight in sight

- OECD諸国では女性の労働力率と出生率の関係が1980年代に負の相関関係から 正の相関関係に変化

OECD加盟24か国における女性労働力率と合計特殊出生率



内閣府男女共同参画局「少子化と男女共同参画に関する社会環境の国際比較報告書」2005年

# 女性の労働力人口比率

Foresight in sight

## ■ 15歳以上の女性人口に対する女性労働力人口の比率

| 順位 | 都道府県 | 女性労働 | 順位 | 都道府県 | 女性労働 | 順位 | 都道府県 | 女性労働 | 全国     |
|----|------|------|----|------|------|----|------|------|--------|
| 1  | 福井県  | 52.2 | 17 | 熊本県  | 48.5 | 33 | 長崎県  | 46.5 |        |
| 2  | 石川県  | 52.1 | 18 | 三重県  | 48.4 | 34 | 福岡県  | 46.4 |        |
| 3  | 長野県  | 51.6 | 19 | 岩手県  | 48.4 | 35 | 千葉県  | 46.4 |        |
| 4  | 静岡県  | 51.2 | 20 | 滋賀県  | 48.3 | 36 | 愛媛県  | 46.1 |        |
| 5  | 鳥取県  | 51.1 | 21 | 青森県  | 48.3 | 37 | 宮城県  | 46.0 |        |
| 6  | 富山県  | 51.0 | 22 | 香川県  | 47.9 | 38 | 東京都  | 46.0 |        |
| 7  | 佐賀県  | 50.5 | 23 | 埼玉県  | 47.8 | 39 | 徳島県  | 45.6 |        |
| 8  | 岐阜県  | 50.0 | 24 | 茨城県  | 47.6 | 40 | 秋田県  | 45.6 |        |
| 9  | 愛知県  | 50.0 | 25 | 広島県  | 47.5 | 41 | 山口県  | 45.3 |        |
| 10 | 宮崎県  | 49.6 | 26 | 岡山県  | 47.4 | 42 | 北海道  | 45.2 |        |
| 11 | 山形県  | 49.3 | 27 | 沖縄県  | 47.3 | 43 | 神奈川県 | 45.0 |        |
| 12 | 栃木県  | 49.3 | 28 | 福島県  | 47.3 | 44 | 和歌山県 | 44.8 |        |
| 13 | 新潟県  | 49.1 | 29 | 京都府  | 47.1 | 45 | 兵庫県  | 44.3 | 1～10位  |
| 14 | 島根県  | 49.1 | 30 | 鹿児島県 | 47.1 | 46 | 大阪府  | 43.9 | 11～37位 |
| 15 | 群馬県  | 48.9 | 31 | 大分県  | 46.8 | 47 | 奈良県  | 41.4 | 38～47位 |
| 16 | 山梨県  | 48.8 | 32 | 高知県  | 46.7 |    |      |      |        |

総務省統計局「国勢調査」2010年

# 合計特殊出生率

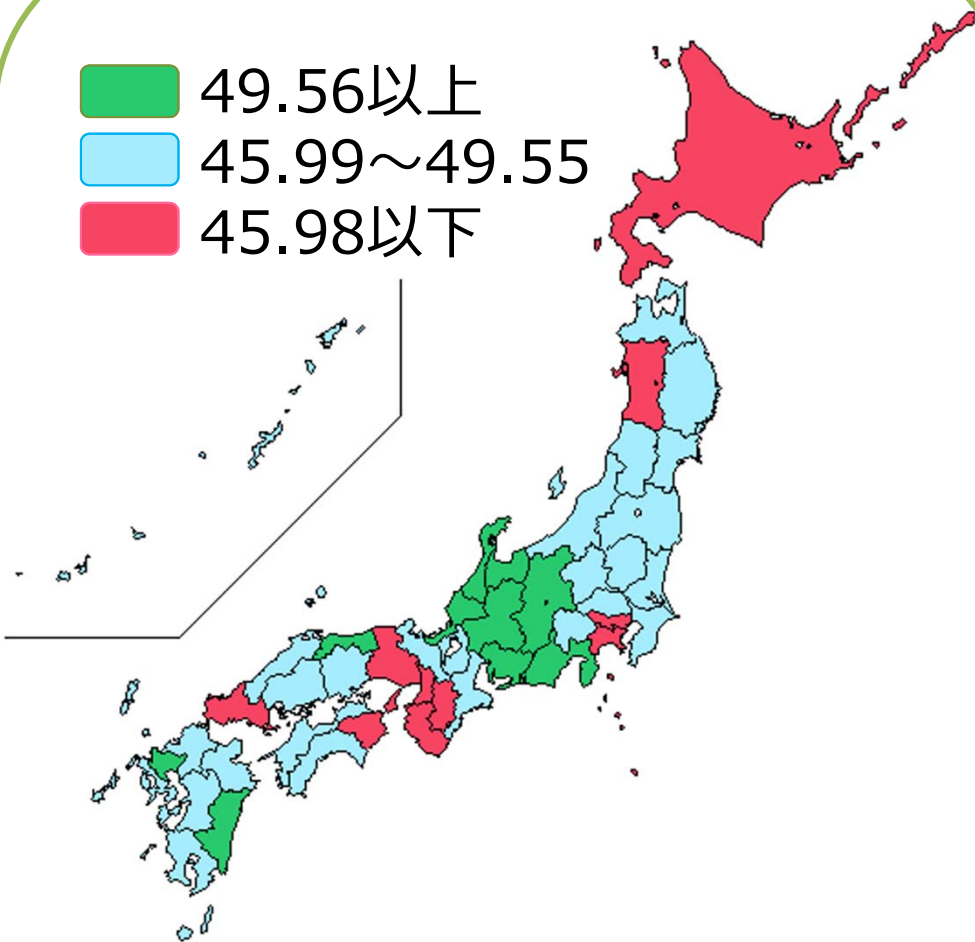
## ■ 15～49歳の女性の各年齢別出生率を合計したもの

| 順位 | 都道府県 | 出生率  | 順位 | 都道府県 | 出生率  | 順位 | 都道府県 | 出生率  | 全国     |
|----|------|------|----|------|------|----|------|------|--------|
| 1  | 沖縄県  | 1.94 | 15 | 滋賀県  | 1.53 | 31 | 徳島県  | 1.43 | 1.43   |
| 2  | 宮崎県  | 1.72 | 18 | 和歌山県 | 1.52 | 34 | 茨城県  | 1.42 |        |
| 3  | 島根県  | 1.65 | 18 | 愛媛県  | 1.52 | 34 | 兵庫県  | 1.42 |        |
| 3  | 熊本県  | 1.65 | 20 | 石川県  | 1.49 | 36 | 群馬県  | 1.41 |        |
| 5  | 長崎県  | 1.64 | 20 | 三重県  | 1.49 | 37 | 青森県  | 1.40 |        |
| 6  | 鹿児島県 | 1.63 | 20 | 岡山県  | 1.49 | 38 | 秋田県  | 1.35 |        |
| 7  | 鳥取県  | 1.62 | 23 | 山形県  | 1.47 | 39 | 宮城県  | 1.34 |        |
| 8  | 福井県  | 1.60 | 23 | 愛知県  | 1.47 | 40 | 千葉県  | 1.33 |        |
| 9  | 佐賀県  | 1.59 | 23 | 高知県  | 1.47 | 40 | 埼玉県  | 1.33 |        |
| 9  | 香川県  | 1.59 | 26 | 岩手県  | 1.46 | 42 | 大阪府  | 1.32 |        |
| 11 | 広島県  | 1.57 | 27 | 福岡県  | 1.45 | 43 | 神奈川県 | 1.31 |        |
| 12 | 山口県  | 1.56 | 27 | 岐阜県  | 1.45 | 43 | 奈良県  | 1.31 |        |
| 12 | 大分県  | 1.56 | 29 | 新潟県  | 1.44 | 45 | 北海道  | 1.28 | 1～10位  |
| 14 | 長野県  | 1.54 | 29 | 山梨県  | 1.44 | 46 | 京都府  | 1.26 | 11～37位 |
| 15 | 福島県  | 1.53 | 31 | 富山県  | 1.43 | 47 | 東京都  | 1.13 | 38～47位 |
| 15 | 静岡県  | 1.53 | 31 | 栃木県  | 1.43 |    |      |      |        |

厚生労働省「人口動態統計」 2013年

## 女性の労働力人口比率

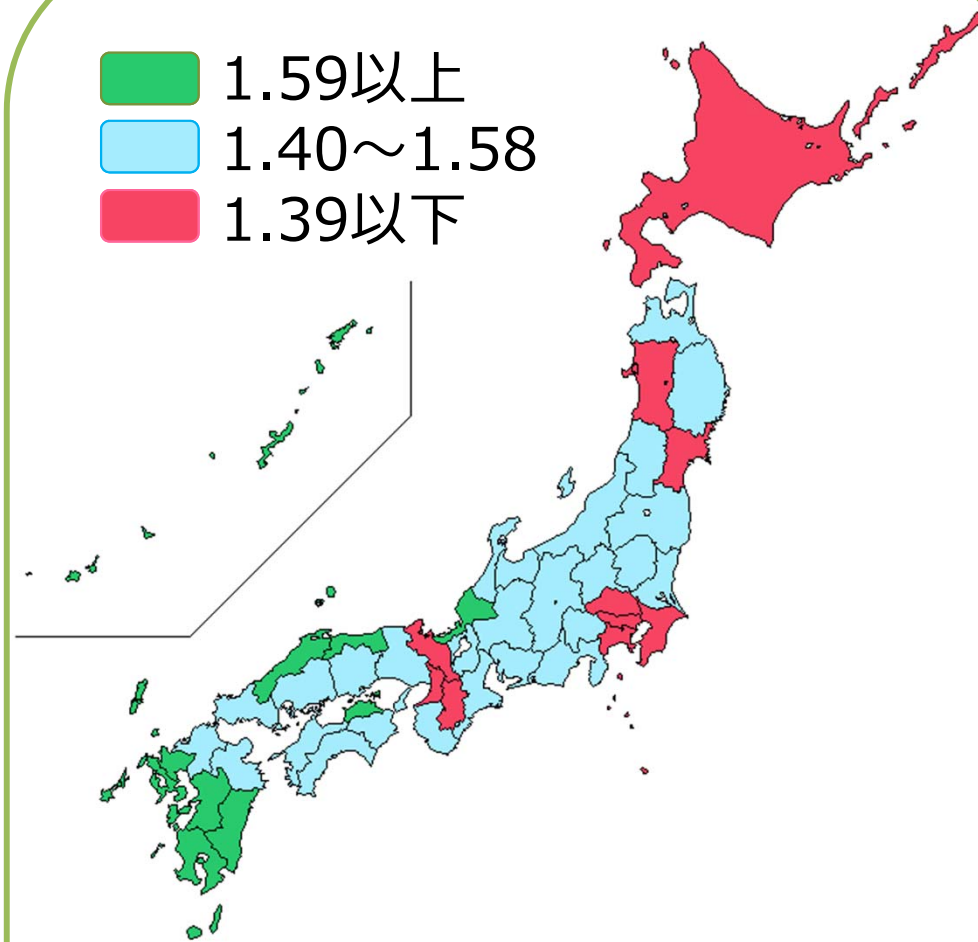
- 49.56以上
- 45.99~49.55
- 45.98以下



- 中日本が高い
- 北海道・関東・近畿が低い

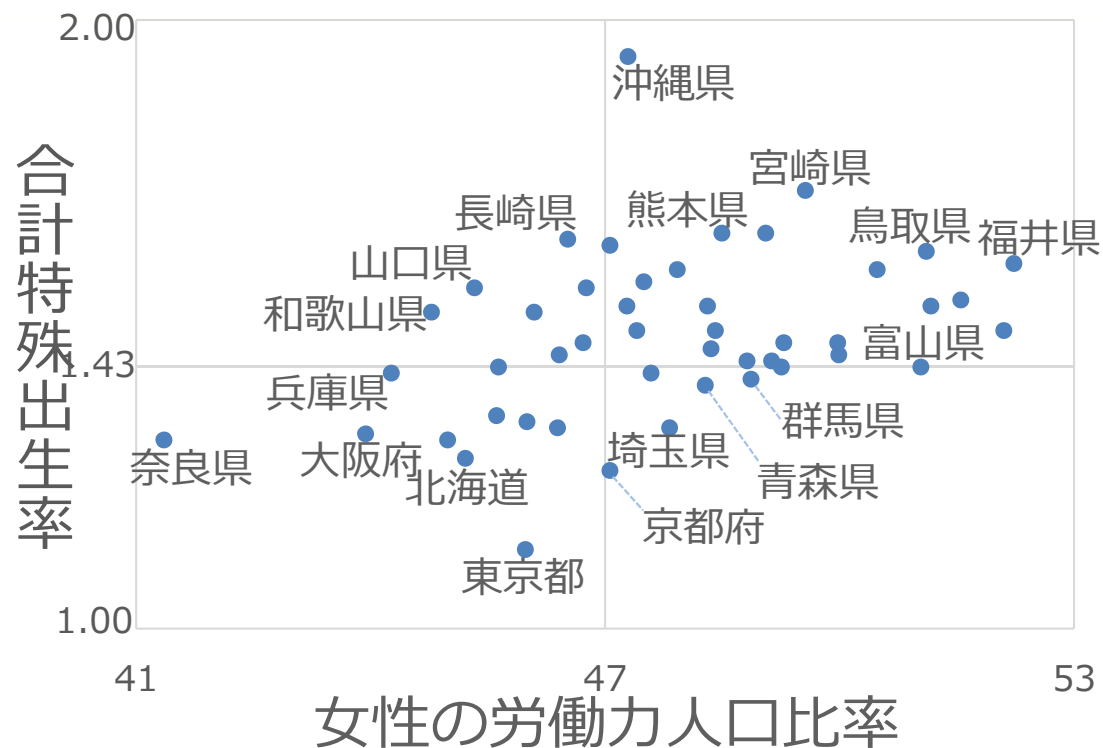
## 合計特殊出生率

- 1.59以上
- 1.40~1.58
- 1.39以下

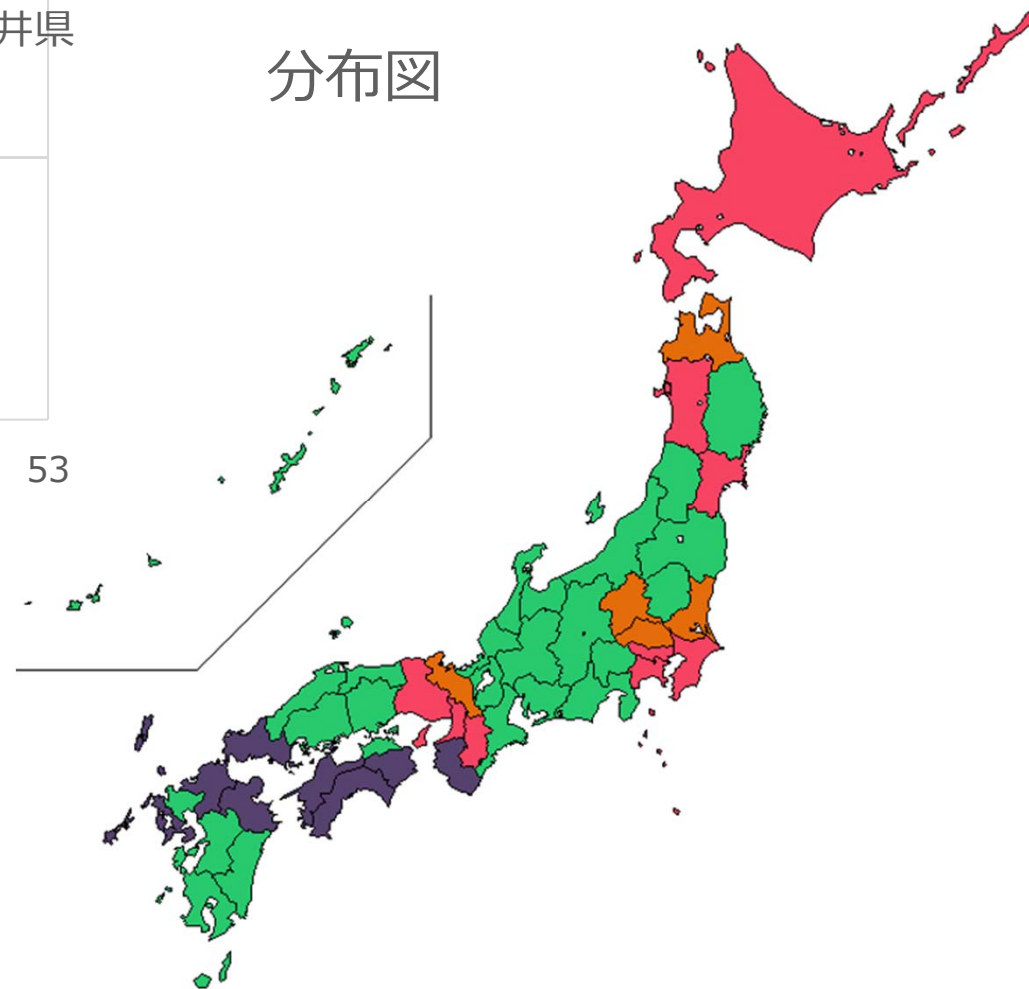


- 西高東低
- 北海道・東北・関東・近畿が低い

# 女性の労働力人口比率 × 合計特殊出生率



分布図



# 女性の労働力率×出生率からみる都道府県の特徴 insight in sight

## ① 女性の労働力率が高く出生率も高い

- ・女性が働きやすく、子育てがしやすい環境

## ② 女性の労働力率は低いが出生率は高い

- ・出生率は高いが、人口が流出している（総務省「国勢調査」より）

## ③ 女性の労働力率は高いが出生率は低い

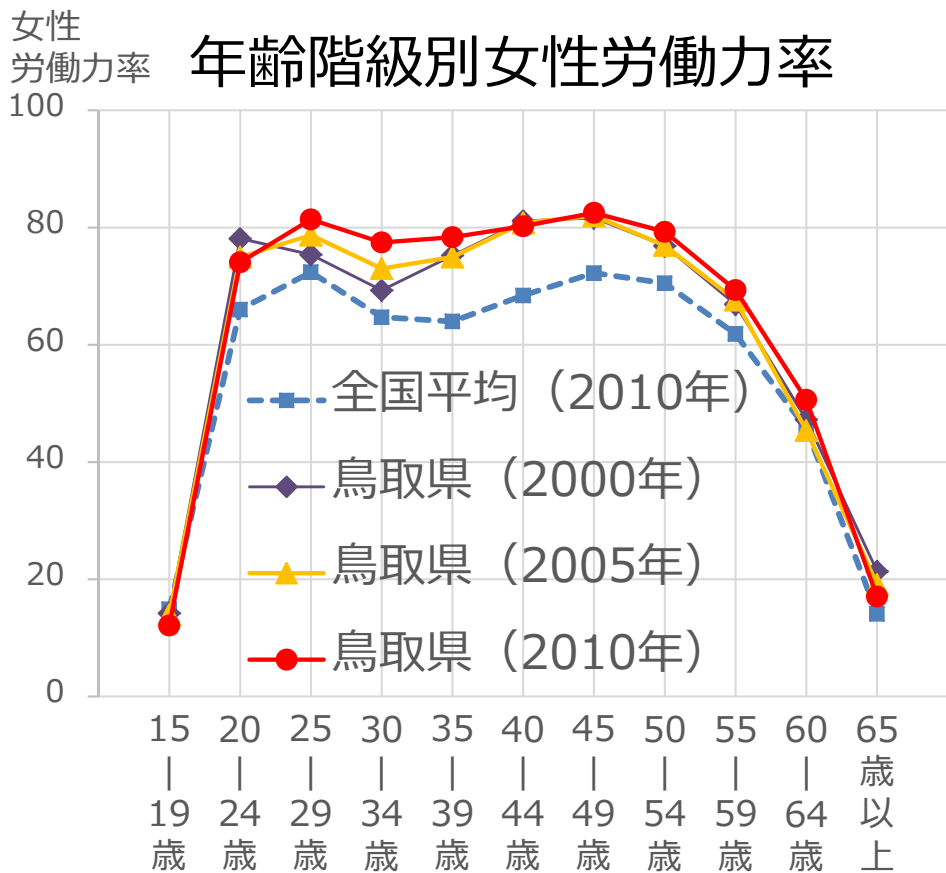
- ・歴史的にみても女性の仕事が多く、女性の労働力率が高い

## ④ 女性の労働力率が低く出生率も低い

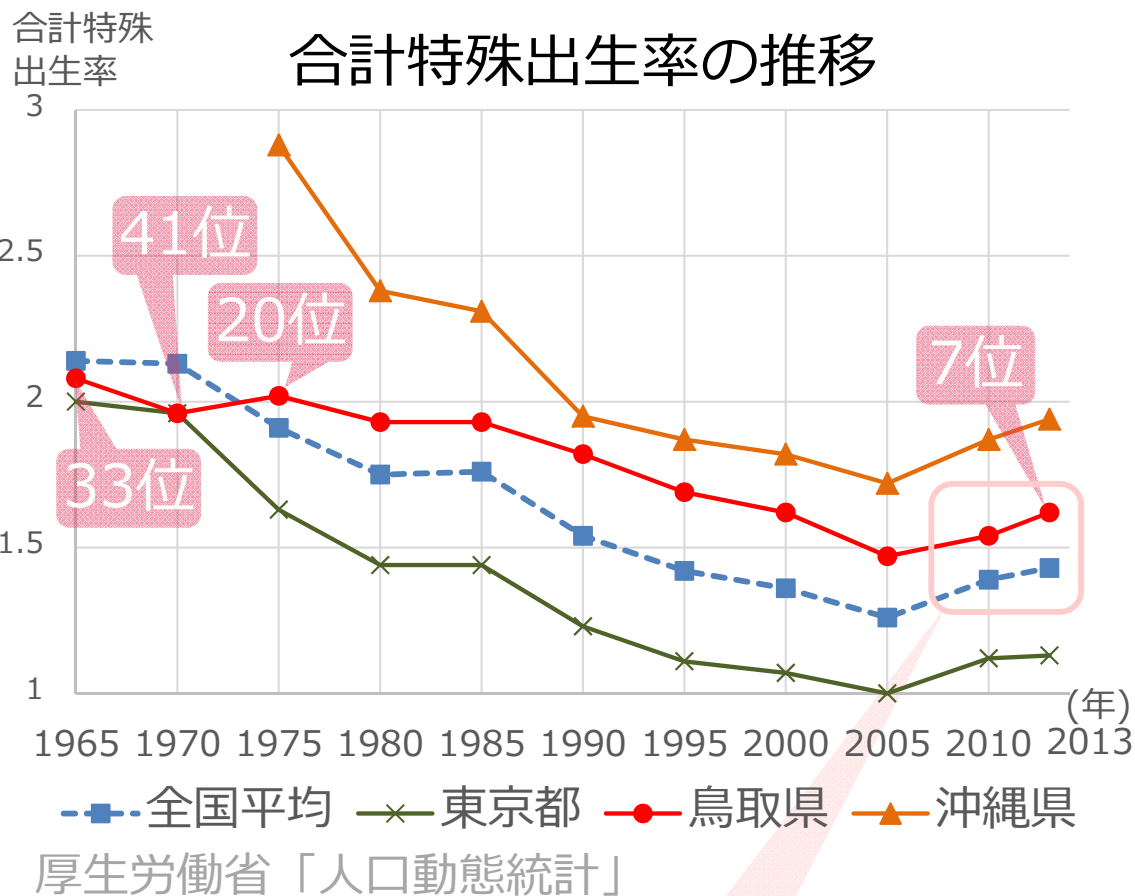
- ・仕事の指標が低く、未婚化、晩婚化、晩産化の傾向がみられる



## ■ 女性の労働力と合計特殊出生率が高い鳥取県

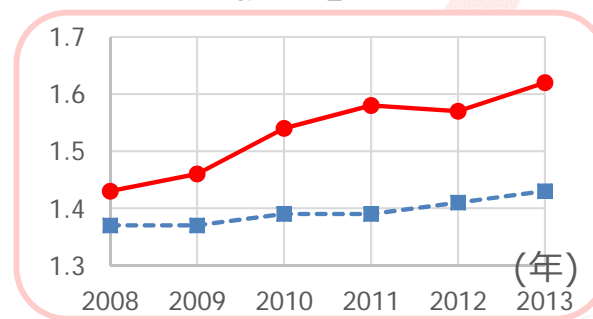


総務省統計局「国勢調査」



厚生労働省「人口動態統計」

鳥取県は  
近年上昇傾向



## 働きやすい・子育てしやすい・住みやすい環境

### 子育て支援策

- 小児特別医療費支援の拡充
- 多子世帯保育料軽減
- 病児・病後児保育の充実
- 不妊治療費の助成
- とっとり子育て応援パスポート
- 周産期医療情報システム
- 産科・産婦人科医師数 全国2位  
女性(15~49歳)10万人当たりの医師数 52.1人(全国39.9人)
- 出産費用の低さ 全国5位  
鳥取県37万4,875円 全国42万3,957円 その差約5万円
- 小児科医師数 全国2位
- 教員一人当たりの児童数 全国5位  
全国平均より約4人少ない
- 待機児童ゼロ (全国1位) など

### とっとりイクメンプロジェクト

- 母親の育児の負担軽減を図るため男性の育児参加を促進
- 男性労働者に対して育児参加休暇及び育児休業を取得させた事業主に対して奨励金を支給

### レディース仕事ふらざ (鳥取、倉吉、米子)

女性を中心とした就職支援を行うとともに育休、産休代替労働者等を求める企業に求職者を紹介するなど、子育て中の女性などの就業を総合的に支援  
県の管理職における女性比率が全国2位の11.5%



子育てしやすい環境づくり  
「子育て王国鳥取県」

# データでみる鳥取県

## ■ ランキングや統計情報から鳥取県を分析

鳥取移住定住  
サポートセンター

移住定住に関する  
相談窓口

とっとり創生  
支援センター

地方創生の推進

雇用1万人  
プロジェクト

合計特殊出生率1.62  
全国7位

多子世帯(第三子以降)  
20.3%

移住者2000人達成  
(2011~2013年累計)

人口の自然減  
社会減を緩和

教育・生活・仕事分野  
のランキングが高い

2013年度962人  
は全国1位

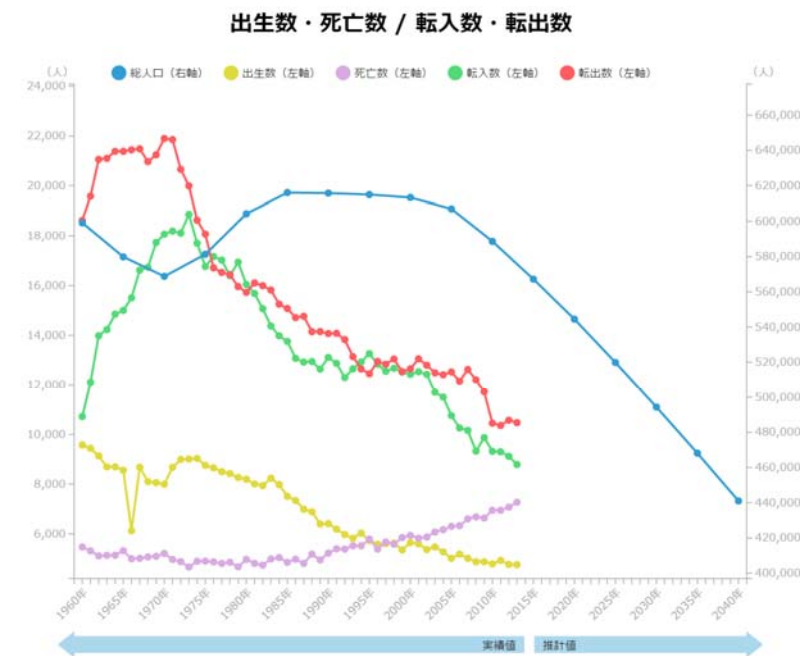
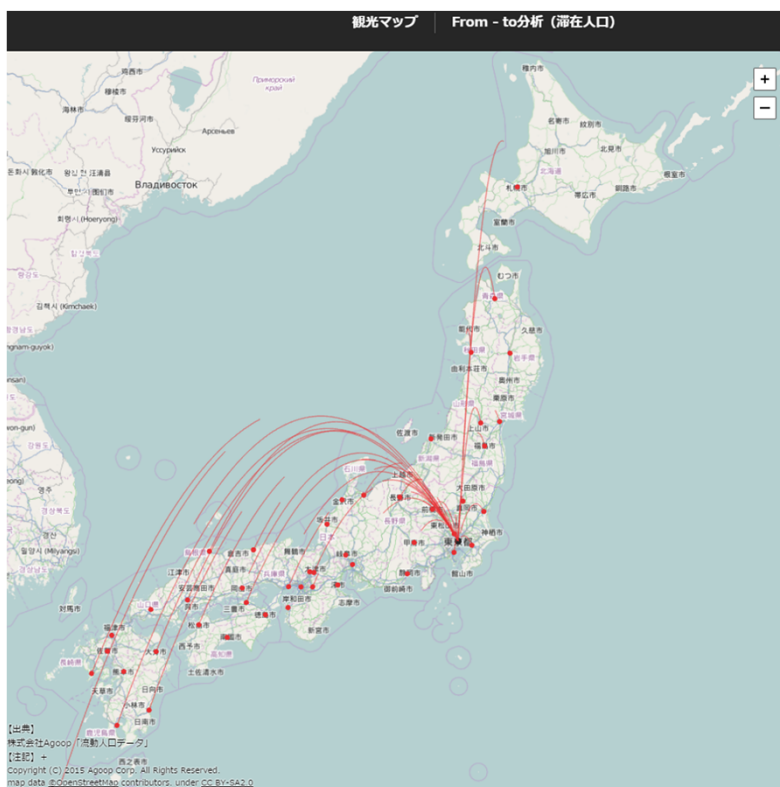


|      |                       |
|------|-----------------------|
| 総人口  | 570,707人              |
| 面積   | 3,507 km <sup>2</sup> |
| 人口密度 | 162人/km <sup>2</sup>  |

| 幸福度ランキング       | 順位        |
|----------------|-----------|
| 総合ランキング        | 4位        |
| 財政健全度          | 2位        |
| 産科・産婦人科医師数     | 2位        |
| 高齢者ボランティア活動者比率 | 2位        |
| 余暇時間           | 5位        |
| 常設映画館数         | 3位        |
| 高齢者有業率         | 5位        |
| 大卒者進路未定者率      | 4位        |
| 待機児童数          | 1位        |
| 一般廃棄物リサイクル率    | 3位        |
| 司書教諭発令率        | 1位        |
| 社会教育学級・講座数     | 1位        |
| 女性の労働力人口比率     | 5位        |
| 住みたい田舎ランキング    | 2位<br>鳥取市 |

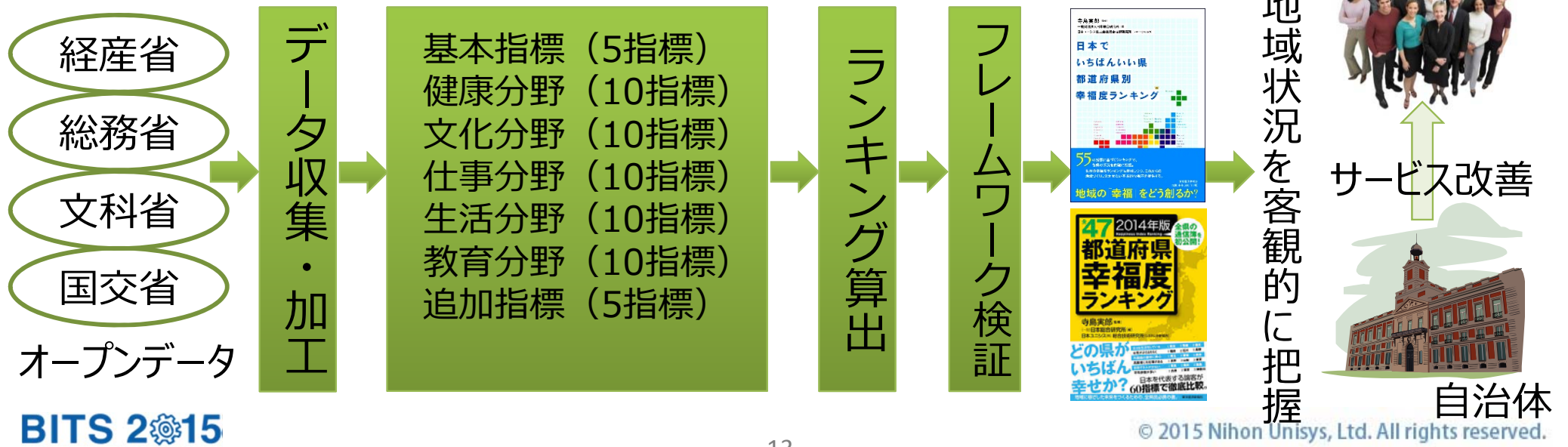
# 【ご参考】 地域経済分析システム(RESAS)

- 内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部)及び経済産業省が提供する自治体向けのビッグデータ分析サービス
- 都道府県・市区町村の産業や企業の実態、観光客の流れ、人口の動態等をわかりやすく見える化し、データに基づく目標設定やPDCAサイクルの設計を支援

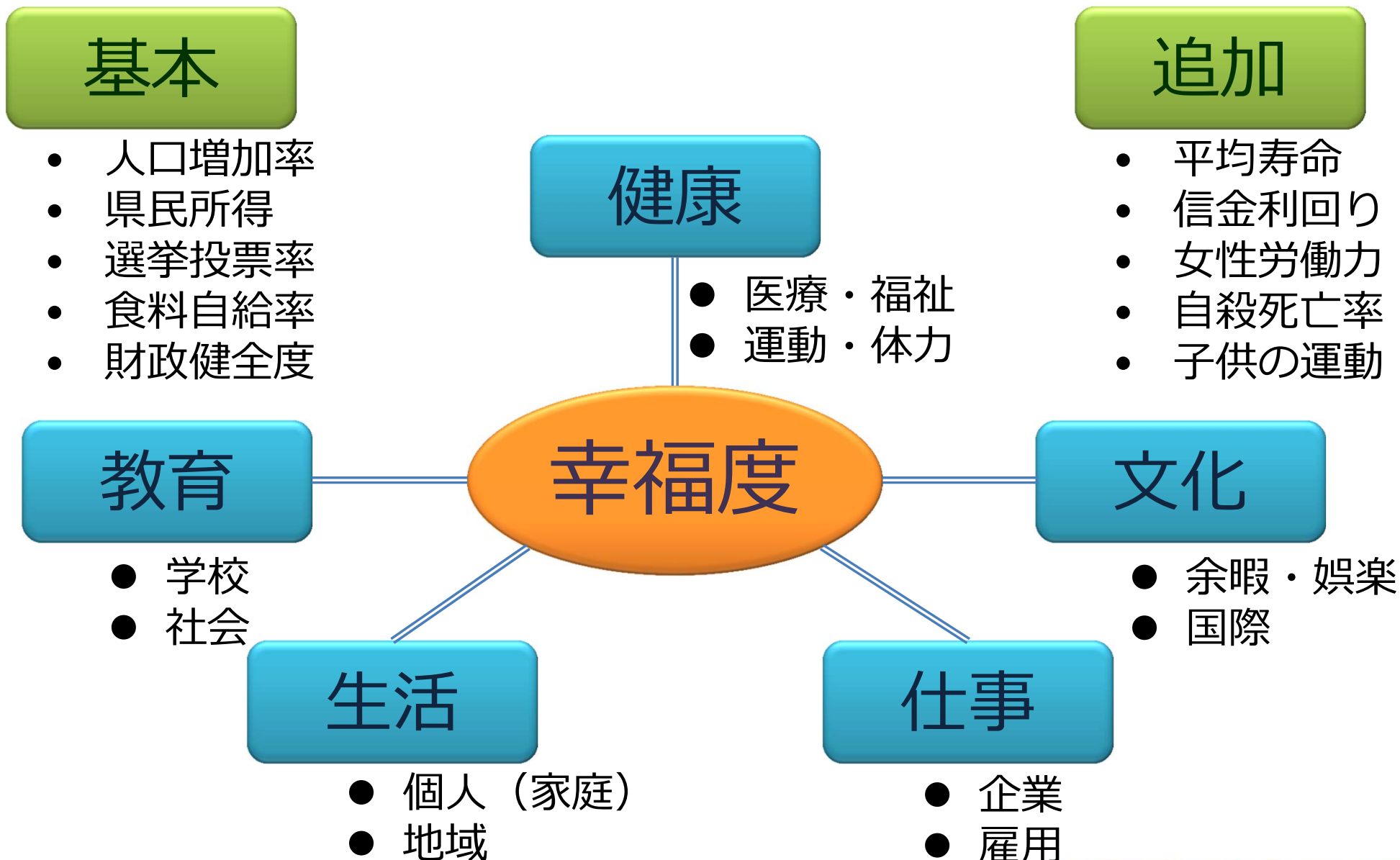


- (一財) 日本総合研究所の企画「地域の幸福をどう創るかを考え、そのためのフレームワークを提示しデータも揃えてみよう」という趣旨に賛同し参加
- 国や自治体が提供しているオープンデータなどを元に、人々の幸福感・生活満足感に影響を及ぼすと考えられる指標を選定

様々なデータを自治体、地域住民にわかりやすい表現に加工



## ■ 幸福に影響を及ぼす60の指標を総合的に選定



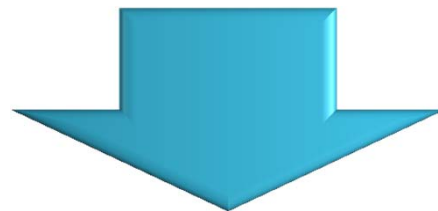
## (一財)日本総合研究所

### 基本信条

- 中立性と創造性の重視
- 革新的で柔軟な研究組織の確立
- 国際的活動の積極的展開

## 日本ユニシス総合技術研究所

- 「データ」を「価値ある情報」に進化させるソフトウェアの提供
- 企業価値向上を支える情報システムの方法論とアーキテクチャーの提供
- 社会プラットフォームを支える技術の提供



高度化・複雑化する社会の  
課題解決に対応

- 幸福度ランキング本のデータ等を利用してシステム化
- より多様な視点で各都道府県を分析し、これまで気づきにくかった都道府県の特徴や新たな課題発掘につながることを目指す

## ベース分析

### 分析

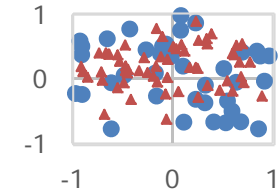
都道府県の幸福を考えるための基盤となる60の指標を客観的に分析

### 可視化

分析した結果を、グラフなどを使いわかりやすく表現

## ビジュアルイズ分析

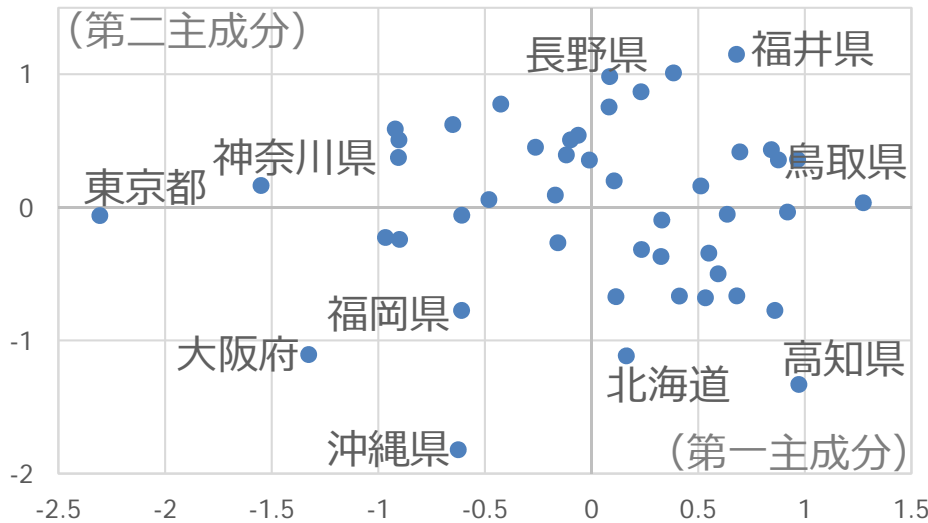
分析結果を重ね合わせたり連携させることでさらに踏み込んだ情報を表示



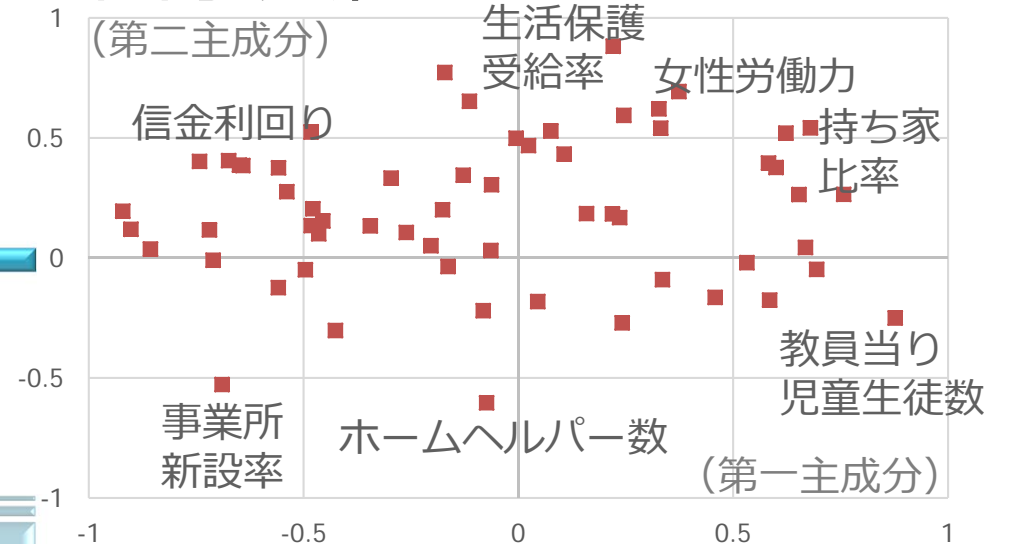
- 自治体や住民が地域の特徴を考える際に、深く広く思考できるような情報を提供する
- 自治体や住民に自らの地域の課題や他地域との比較を示し、改善すべき方向性を見出す

# 幸福度ランキングに基づくビジュアルライズ分析 Foresight in sight

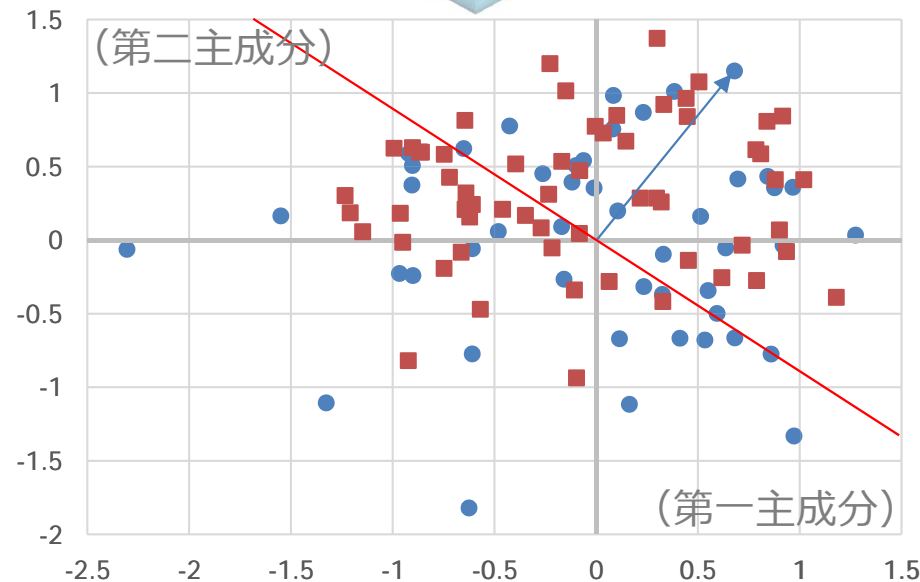
## 主成分スコア



## 因子負荷量



## バイプロット



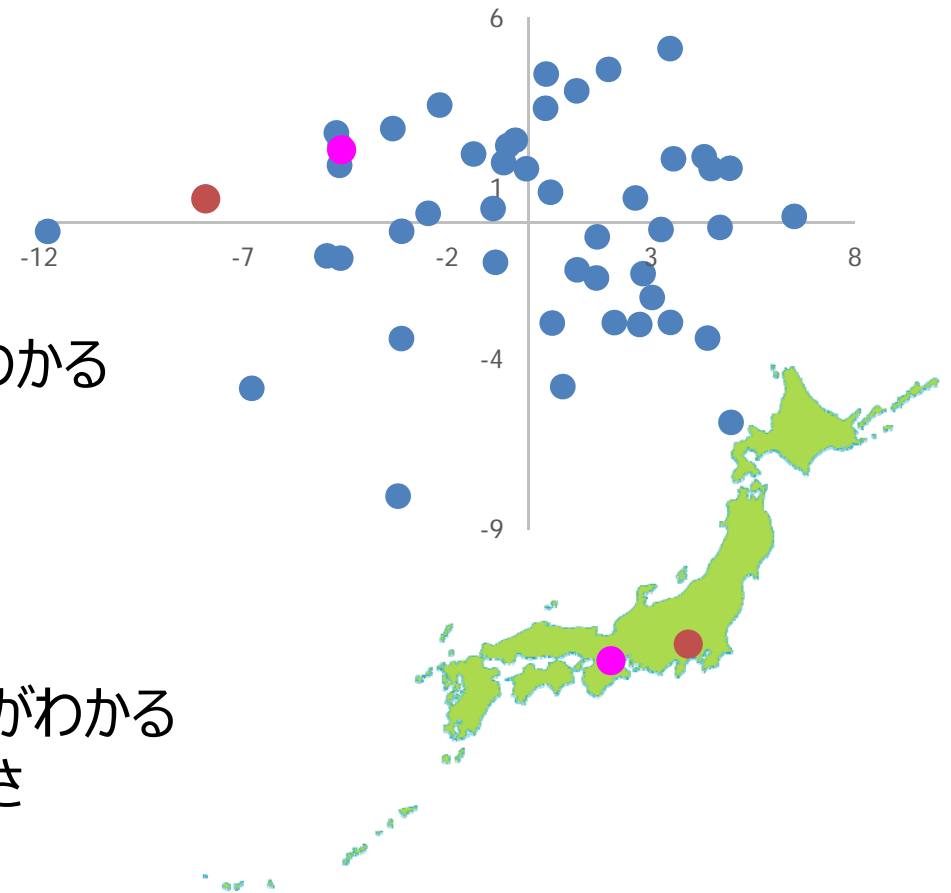
## ■ データビジュアライゼーション技術を活用し直感的でわかりやすく表現

### 都道府県動向

- ✓ 各都道府県の強み弱みがわかる
- ✓ ランキングの地理的な特徴がわかる
- ✓ 都道府県の位置づけと地理的な関係がわかる
- ✓ 似た特徴がある都道府県がわかる
- ✓ 他の都道府県と比較できる

### 都道府県内部分析

- ✓ 各都道府県の課題や目指すべき方向性がわかる
- ✓ 上位や下位との得点差から改善のしやすさ(しにくさ)がわかる

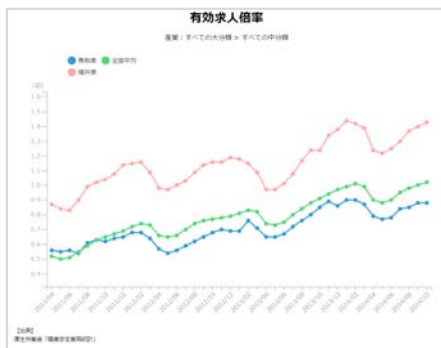


## 都道府県幸福度 ランキング分析 システム



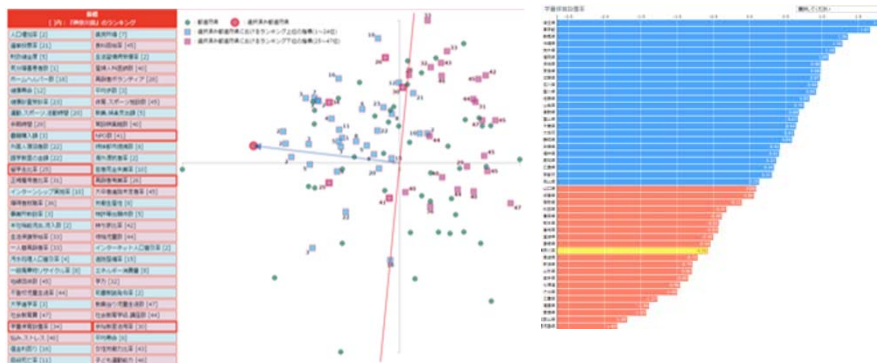
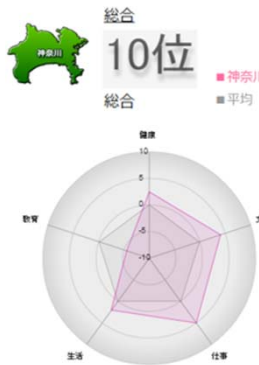
- 健康・文化・仕事・生活・教育の5分野で総合的に分析
- 将来を見通すための指標を含む
- 散布図などから自治体が課題の優先度を意思決定しやすいようにナビゲーション

## 地域経済分析 システム



- 産業構造や人口動態、観光の人の流れ等の現状・実態を正確に把握
- 企業の取引状況や将来の人口、人の移動に関するデータをグラフや地図で可視化
- 分析結果をもとに課題抽出や改善に向けた意思決定は自治体が行う

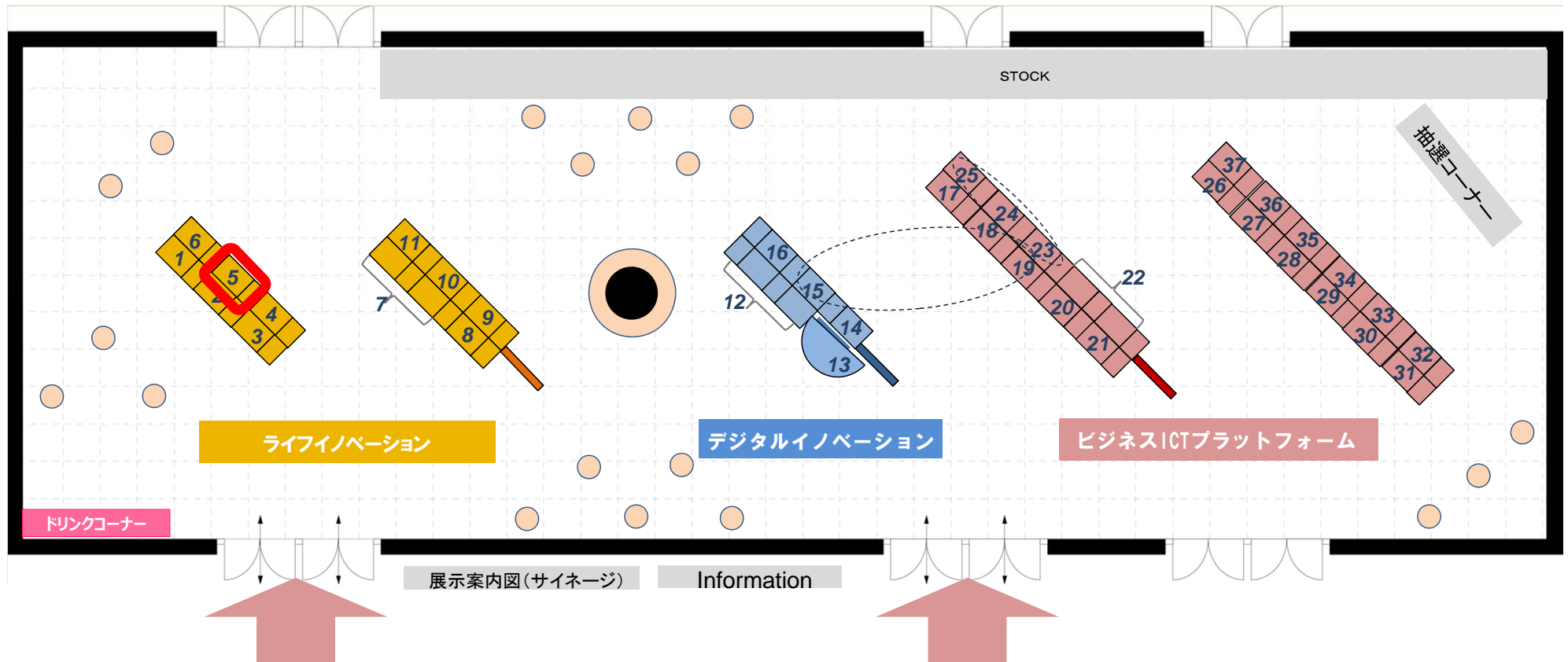
- 地方創生では、それぞれの地域が個性を活かし、地域が主体となって取り組むことが重要
- データを活用して多面的な見方をすることが、地方創生における施策を検討するための手がかりとなる



地域の特徴に即した  
対策が必要

データを使って客観的に  
地域を分析

データから検討への  
手がかりを得る



展示No. 5  
データから地方創生を考える

# Foresight in sight

